

まちのできごと・マンスリーでお知らせします。



2月21日に開かれた市長記者会見の様子

新型コロナウイルス対策の経緯

1月24日 中国人観光客の感染疑いを受け、《第1回庁内情報共有会議》を開催（2月6日に第2回、2月20日に第3回の会議を開催）

2月21日 市内で1人目の感染者が確認され、《第1回千歳市新型コロナウイルス感染症対策会議》を開催／《市長記者会見》を実施／SNS(Twitter・Facebook)で情報発信を開始

2月26日 北海道からの要請により、市内小中学校を臨時休校（2月27日～3月4日）を決定

2月27日 市ホームページに「新型コロナウイルス感染症関連情報」の特設ページを開設／同時に、メール配信サービスを開始

2月28日 《第2回千歳市新型コロナウイルス感染症対策会議》を開催／北海道の《緊急事態宣言（外出を控える呼びかけ）》が発表／市内で2人目の感染が確認

3月5日 《第3回千歳市新型コロナウイルス感染症対策会議》を開催

3月6日 市長が、「市民へのメッセージ（1回目）」を市役所議会議場場で発表

3月17日 公共施設の運用を検討するため《千歳市新型コロナウイルス感染症対策調整会議》を開催

3月18日 《第1回千歳市新型コロナウイルス感染症対策本部会議》を開催し、市長が市民に向けてメッセージ（2回目）を市役所議会議場場で発表

3月23日 3月25日以降の公共施設の運用を検討するため《千歳市新型コロナウイルス感染症対策調整会議》を開催

※3月27日時点での情報です

新型コロナウイルス(COVID-19)に対峙 市のこれまでの取り組み



新型コロナウイルス関連の最新情報は、市ホームページで公開中です。



3月6日に議場で全市議会議員を前に「市民へのメッセージ」を発表する山口市長



山 口市長は、3月6日と18日、議場で市議会議員を前にして、新型コロナウイルス感染症に関し、「市民へのメッセージ」を発表しました。「市民の命や健康を守ることを第一に、国や道と連携して感染拡大防止に努めてまいります」と述べ、あわせて市民の皆さんへのお願いごととして、「手洗い・消毒」、「咳エチケット」、「不要不急の外出を控える」など基本的な予防対策を呼びかけました。
※メッセージ全文（2回目）を23、24ページに掲載。

ここでは、市長が、3月18日に発表したメッセージの全文を紹介します。広報発行日（4月10日）までに運用が変わっていることがあります。

「市民へのメッセージ（2回目）」全文（1/2）

（※1）公共施設の休館は、3月23日の調整会議により3月31日までの休館を決定しています。4月1日以降は市のホームページをご確認ください。

市民生活や市内経済などに様々な影響を及ぼしている「新型コロナウイルス感染症」に関しまして、3月6日に続き、この議場をお借りし、今後の市の対策についてご報告とお願いを申し上げます。

1 はじめに

本市におきましては、2月28日に2例目となる市内在住の方の感染が確認されて以降、新たな感染者は確認されておらず、また、連日、感染者の確認が続いていた北海道内においても、昨日の3月17日は、26日ぶりに新たな感染者が確認されなかったところではありますが、全国的には感染者数は増加傾向にあり、依然として警戒を緩めることはできません。新型コロナウイルス感染症は、市民生活に加え、市内経済に甚大な影響をもたらしておりますが、終息の見えない現状におきましては、感染拡大の防止が最優先と考えております。

このような状況の中、国の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議は、3月19日を目途に、これまでの対策の効果について判断を示す予定となっており、国及び北海道からも、3月20日以降の感染拡大防止に向けた方針が示されるものとして、注視しているとあります。

2 公共施設について

公共施設について申し上げます。感染拡大を防止し、市民の健康と安全を守るための措置として、3月19日まで臨時休館とした、スポーツ施設や文化施設のほか、貸館を主目的としたコミュニティセンターなどの公共施設については、全国的に感染者数が増加していることを踏まえ、3月24日まで（※1）休館期間を延長することといたしました。

なお、千歳市立図書館については、3月20日から、事前予約による図書の出のみ実施いたしますが、他の公共施設等の開館・休館情報については、後段に添付しております別紙資料（※2）をご参照願います。

3 小中学校について

小中学校について申し上げます。3月24日までの間、臨時休校している市内の小中学校につきましては、3月10日から、子どもたちの健康観察や学習への取組状況の確認などを目的とし、校内の消毒や、子ども同士の距離を適切にとるなどの感染予

防対策に十分配慮した上で、順次分散登校を実施しております。分散登校は、児童生徒数などの状況により、学年やクラスごと、若しくは地域ごとなどに分散し、1回60分程度の短時間で実施しております。中学校の卒業式については、3月13日、保護者の出席をご遠慮いただくなか実施し、皆様のご理解とご協力により、大きな混乱も無く執り行うことができました。

今後、小学校及び北進小中学校についても、同様の卒業式を予定しておりますが、引き続き、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

4 幼児教育・保育施設等について

幼児教育・保育施設等について申し上げます。認定こども園、保育所、学童クラブ及び児童館などの幼児教育・保育施設等につきましては、感染拡大の防止策として、保護者の皆様に対し、可能な限り、利用の自粛をお願いしているところであり、登園自粛分の保育料や学童クラブ保護者負担金については減額の措置を講じてまいります。

感染拡大の防止対策に伴い、お子様をはじめ、保護者の皆様には、多大なるご負担をおかけしておりますが、引き続き、ご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

5 生活困窮者対策について

生活困窮者対策につきましては、国は、社会福祉協議会の「生活福祉資金貸付制度」の貸付対象者を、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業により、一時的に生活資金を必要とする方や、生活の困窮により日常生活の維持が困難な方にまで拡大し、無利子での貸し付けや貸付上限額の拡大、償還期間の延長、償還免除などの特例を設けて実施しております。

また、市では、減収により家計や仕事、住まいなど日常生活でお困りの方が、「生活困窮者自立支援制度」に基づき、適切に支援を受けられるよう、千歳市社会福祉協議会をはじめとする関係機関と連携し、包括的な相談体制の強化に努めているところであり、福祉に関する相談窓口を遠慮なくご利用していただきたいと思います。

6 集団健診について

集団健診につきましては、感染症予防対策を強化したうえで、母子保健事業である乳幼児については4月から実施する予定とし、成人については、例年どおり5月からの実施といたします。



新 市は、3月19日に北海道ニッソーサービス㈱（住吉2）から除菌消臭剤100リットルの寄付を受けました。「新型コロナウイルス感染予防に活用して欲しい」と同社の沼田哲平社長から山口市長に手渡された除菌消臭剤は、市内の児童施設などに配布しました。

新型コロナウイルス感染拡大により、市内事業者の売上げが減少していることを受け、3月19日に市と商工会議所が千歳金融協会に対し、資金調達などの経営支援を要望しました。横田隆一副市長と入口博美商工会議所会頭が石川重雄千歳金融協会会長に要望書を手渡しました。

（※2）資料は市ホームページでご覧いただけます。



小 中学校や幼稚園などが臨時休校・登園自粛になる中、新型コロナウイルス感染対策を徹底し、卒業式や卒園式が行われました。子どもたちは、友だちとの久しぶりの再会を喜んでいました。(写真下：3月14日に青葉幼稚園で撮影/写真右：3月21日に千歳小学校で撮影)



3月のできごと

サ ケのふるさと千歳水族館では、3月1日から《サケ稚魚の放流体験》がはじまりました。参加者はコップに入った3cmほどの稚魚に「元気に帰ってきてね」と言葉をかけ、3年間の長旅の無事を祈りながら放流していました。(写真下：3月28日撮影)



あ さ陽認定こども園(流通3)の内覧会が、3月28日に開催されました。子どもたちの安全と使いやすさを第一に設計されています。笑顔で楽しく遊ぶ子どもたちの姿が目に見えます。

4-1 現在

《総人口》
97,198人 (-180)
男性 49,183人 (-235)
女性 48,015人 (+55)
《世帯》50,101世帯 (+133)

()内は、前月との比較です。

広報ちとせからのお知らせ

「紹介します うすの先生」のコーナーは新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時休校のため、お休みします。

広報広聴課 広報係
☎(24)0104 FAX(22)8851

市民へのメッセージ全文(2/2)

7 市立千歳市民病院について
市立千歳市民病院の対応につきましても、引き続き、院内での感染を防止するため、3月末までに予定している、急を要さない入院・手術などを、4月以降に延期しているほか、入院患者への面会制限を継続しているところであります。外来患者につきましても、発熱や呼吸器症状のある患者と他の患者が接触しないよう、受診時間や診療場所、待合場所を区別して診療を行っております。

また、定期的な受診の患者で、主治医が受診の延期が可能と判断する場合には、4月以降に受診いただくようお願いをしているほか、投薬のみで受診される患者につきましても、診療を短縮した処方箋のみの発行も行ってまいります。市民の皆様にはご不便をおかけいたしますが、感染症拡大の防止と市民病院をご利用される皆様の安全を第一に考え、このような診療体制としてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

8 補正予算の追加提案について
補正予算の追加提案について申し上げます。国は、3月10日、「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策 第2弾」を決定し、「感染拡大防止策と医療提供体制の整備」「学校の臨時休校に伴って生じる課題への対応」「事業活動の縮小や雇用への対応」などの基本方針を示したほか、昨日、市議会自民党議員会からも、「新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算編成を求めの要請」があったところであります。市といたしましては、国の緊急対応策と連動し、「市内企業に対する資金繰り対策」及び「小中学校等の臨時休校によって生じた影響に対する対策」を2本柱とする補正予算の編成作業に着手したところであります。

補正予算の主な内容として、市内企業に対する「資金繰り対策」として、「市内企業に対する資金繰り対策」として、利子補給など新たな融資制度を創設します。また、「小中学校等の臨時休校によって生じた影響への対策」として、給食費の返還に伴う費用を措置するとともに、認定こども園や学童クラブなどの感染防止対策のほか、学童クラブの開所時間の延長に伴う費用を計上してまいります。さらに国は、「機動的に必要な十分な経済財政政策を間髪入れず算における大型の補正予算についても示唆していることから、市といたしましても迅速かつ的確に対応してまいります。

最後にありますが、感染拡大の防止を最優先とするため、やむを得ず、公共施設の閉鎖を3月24日(※3)まで延長したところであります。3月25日以降については、今後の国や北海道の動向を踏まえ、柔軟に対応し、随時、お知らせしてまいります。

また、小中学校の春休みの対応や入学式、さらには市が主催する4月以降の行事など、現時点において方針が未定の事項につきましても、適宜、決定し、その内容については、市のホームページや災害用のSNS、メール配信サービスなどを通じ、速やかに、市民の皆様へ最新の情報をお伝えしてまいります。

現在、日本全体で新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のための取組が行われており、市民の皆様一人ひとりの行動が非常に大きな力となります。このことから、引き続き、咳エチケットや手洗いの励行などの行動をとっていただきたいと考えております。

本市は、引き続き、国、北海道、医療機関、関係団体と連携を図り、感染拡大の防止に向けた取組を迅速かつ確に行ってまいりますので、市民の皆様より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

(※3) 23ページ同様、3月31日までの休館を決定しています。4月1日以降は市のホームページをご確認ください。

Q & A

皆さんから市に寄せられた「声」と、それに対する「市の考え方」を紹介します。

Q こども園に通っている子どもがいます。自粛により、登園しなかった分の《保育料》や《給食費》は返還されますか

A 市の要請に応じて、2月27日以降に登園を自粛した場合、月額保険料を日割り計算し、減額します。減額分は、登園日数確定後に処理を行います。公立の認定こども園の給食費は、保育料と同様の取り扱いで減額しますが、私立の認定こども園などの給食費は、各施設が実費徴収しているため、対応については、在籍施設へお問い合わせください。

Q 《10か月児健診》を受ける子どもがいます。「コロナウイルスの流行が終息するまで、健診を無料で受けられる期間を延長できませんか

A 平成31年4月生まれから令和元年7月生まれの乳児について受診期間を3か月延長し、1歳2か月になるまでの間の無料での受診を可能としました。対象者には、個別に新しい受診期間を記載した問診票を送付しています。

Q 市職員の皆さんはマスクを着用していますが、備蓄があれば市民にも分けてほしいです

A 職員が着用しているマスクは、感染症などの発生時において、感染拡大を防止し、市民生活に支障が生じないよう、市の業務を適切に継続するため計画的に備蓄していただいております。市は、市内のマスク不足について、国に対し、マスクや消毒液などの供給を要請しており(3月12日時点)、国や道と連携し、状況に応じて必要な対応を行います。なお、国は医療機関に対し医療用マスクを優先配布しているほか、介護施設などへは、布製マスクの配布を進めています。

Q 市から多くのイベントや集会などの中止や延期を求められています。すでに支払った、あるいは支払予定の公共施設の使用・利用料金は、返還されますか

A 新型コロナウイルス感染症拡大予防対応を理由として公共施設の使用・利用取消や変更がある場合は、特別な事情に該当する事案と判断し、取消申請にともなう徴収済み料金については、全額返還します。